

2. 事業の概要と成果	
1) 上位目標の達成度	<p>本事業は、事業終了後3～5年後に達成すべき上位目標を「直接および間接受益者の生活が改善する」と設定した。フェーズ1(2011年)、フェーズ2(2012年)、そしてフェーズ3(2013年)を実施中に行ったPersonal Household Information (PHI) 調査結果から、活動実績2年以上¹⁾の49村の受益者世帯の平均月収の増加(110,216チャット→152,057チャット)、家財所有状況の改善(バイク:27%→51%、テレビ:34%→50%、電話:1%→9%)、栄養バランスのよい食事が摂れている世帯の割合の増加(48%→72%)、家屋素材の改良(トタン屋根:68%→87%)、また調査月の前月に医療費を支出した受益者世帯の割合の減少(35%→13%)など、直接および間接受益者の生計が向上している状況が確認できた。</p> <p>本事業終了時点での活動実績約1年の新規5村の受益者世帯に関しても、事業参加時と事業終了時に行われた調査から、平均月収の増加(103,245チャット→107,307チャット)、家財所有状況の改善(バイク:19%→26%、テレビ:25%→32%、電話:2%→32%)、栄養バランスのよい食事が摂れている世帯の割合の増加(53%→57%)、家屋素材の改良(トタン屋根:66%→79%)、また調査月前月に医療費を支出した受益者世帯の割合の減少(38%→13%)など、生計が上向いている状況が確認できた。</p> <p>また、受益者へのインタビューにおいては、「事業に参加する前はデング熱や下痢で子どもたちが入院して出費がかさんで家計が非常に厳しい状況だったが、健康教育を受け、それぞれの疾病要因や予防法を学んだ結果、手洗い、トイレや蚊帳の使用を徹底するようになり、子どもたちが病気になることがなくなった」といった話が確認できた。5歳未満児の疾病が多く見られたある対象村においても、「健康教育の結果、個人衛生や環境衛生、また予防接種を徹底するようになった。また、下痢の際には自宅で経口補水液を飲ませるなど、保健センターへ行く回数が減り、さらに子どもの死亡件数が減少した」ことが確認できた。</p> <p>なお、ミャンマー(以下、ミ国)における民主化の進展に伴う経済・流通の発展もまた、受益者の生計に正の影響を与えたであろうことも付記したい。今後生計向上プログラムは、当法人が一部の活動を継続実施していくことから、大きな阻害要因がない限り、受益者の生計は、今後も引き続き維持改善していくものと考えられる。</p>
2) 事業内容	<p>本事業は、ミ国中央乾燥地に位置するメティラ郡において、当法人が実施している「生計向上プログラム(健康教育、技術研修、小規模無担保融資、健康保険、貯蓄を組み合わせた事業)」のうち、「健康教育」と「技術研修」の拡充を図ることで、貧困層女性の生計(生活)向上に寄与することを目的とした事業である。今年開始されたフェーズ3は、全体で3年間の事業の最終年にあたり、26日間の延長期間を含む約13か月間にわたって実施された。同郡54村に居住する貧困層女性約2,500人を対象に、下記4つの活動を実施した。なお、フェーズ3開始時の生計向上プログラム参加実績に基づき、全54村を実績2年以上の36村(A群)、実績2年未満の18村(B群)に分け、それぞれの状況に応じた介入を行った。</p> <p>事業内容詳細は別添1を、事業の内容および効果に関する写真は別添2を参照されたい。</p>

¹⁾ 本事業終了時点。

活動 1. 健康教育

A 群（活動実績 2 年以上 36 村）では、自薦他薦で選出されたピアエドゥケーター計 62 人に対し、3 つのトピック（家族計画、リプロダクティブ・ヘルスに関する疾病、HIV/AIDS）の基礎知識および健康教育実施能力の向上を目的とした研修を 2 回実施した。同研修後、ピアエドゥケーターにより各トピックの健康教育が計 456 回開催され、のべ 16,680 人の受益者が参加した。他方、活動経験実績が少ない B 群（活動実績 2 年未満 18 村）では、本事業の保健指導員が健康教育を計 414 回開催し、のべ 8,021 人の受益者が参加した。また、リプロダクティブ・ヘルスに関する知識の改善が特に求められた 9 村において、全村民を対象としたリプロダクティブ・ヘルス啓発ミーティングを開催し、のべ 666 人（全世帯の 60%）の村民が参加した。健康教育や啓発ミーティングでは、県立病院職員や管轄地域補助保健センターの保健スタッフが講師やファシリテーターを務めたことにより、地域住民とのより良い連携関係を構築することができた。

活動 2. 農業研修

研修に先立ち受益者を対象に実施された聞き取り調査により、作付け方法の改善が必要であること、化学肥料への過度の依存で土壌が劣化していることが判明した他、疫病が発生している状況が認められたため、農業研修では輪作や転作の方法を含む作付け体系や、疫病予防方法を重点的に取り扱うこととした。初級コース（有機農法ならびに家庭菜園）は新規 5 村の受益者を対象に開催し、計 167 人が受講した。中級コース（作付体系や高温期のキノコ栽培）は 2011 年までに初級コースを実施した 46 村の受益者を対象に開催し、計 1,068 人が受講した。また、土地を持たず比較的収入の低い 35 村の非就農者を対象に非農家対象コース（家庭菜園ならびにキノコ栽培）を開催し、各村 5 人ずつ計 175 人が受講した。いずれの研修においても、全受講者に研修手引書を配布した他、キノコ栽培やボカシ肥料作製などの実技演習も含めることで、理解が深まるよう努めた。また、他団体の農業研修所や成功事例村へのスタディーツアーを実施したことにより、事例見学や関係者との活発な意見交換など、受益者に別途学びの機会が提供されたことは、研修で学んだ知識を深め、またモチベーションの向上にもつながった。

活動 3. 畜産研修

研修に先立ち受益者を対象に実施された聞き取り調査により、飼育環境や飼料および予防接種などの知識が不足していることが認められたため、これらのテーマを重点的に取り扱うこととした。初級コース（養豚、養鶏、養ヤギ・羊、養牛、飼料配合方法）は新規 5 村の受益者を対象に開催し、計 130 人が受講した。中級コース（人工授精、有用微生物群を活用した飼料、ヤギの去勢方法などの新技術）は 2011 年までに研修を実施した 46 村の受益者を対象に開催し、計 1,181 人が受講した。いずれの研修においても、全受講者に研修手引書や基礎知識パンフレットを配布した他、飼料配合方法を実技演習するなどし、理解促進に努めた。またモデル養鶏場を観察するスタディーツアーを開催したことにより、受益者は関係者や参加した畜産局職員との意見交換が可能となり、研修で学んだ知識を深めることができた。その他、郡畜産局と協働により、各村で家畜予防接種プログラムを実施し、畜産に従事している受益者の 78% が参加し、家畜へのワクチン接種が行われた。

	<p>活動 4. 成果発表会の開催</p> <p>本事業終了時に、受益者が自らの成果を発表する会を開催した。受益者自身が健康教育の成果を発表する「健康コンテスト」では、健康教育の知識が高齢出産の母子の命を救った例など、10村での優秀事例が発表された。農業・畜産研修の成果を発表する「生計向上活動コンテスト」では、ダボック稲作や有機農法によって収入向上に成功した10名が、それぞれの経験や成果を共有した。また、「事業成果発表会」では、保健省、郡農業局および畜産局などの地方行政職員や、他関連団体職員約115人と、受益者ら計142人が見守る中、先述「健康コンテスト」と「生計向上活動コンテスト」の優秀者がそれぞれの成果を発表した。この発表会の様子は、2つの地元紙でも紹介され、広く地域の方々に本事業の成果を紹介することができた。</p>																																										
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>成果 1. 直接受益者の基礎保健知識（家族計画、リプロダクティブ・ヘルスに関する疾病、HIV/AIDS）が向上する</p> <p>（指標 1-1）8割の直接受益者が健康教育に参加する</p> <p>達成</p> <p>いずれのトピックにおいても、常に8割を超える受益者の参加を得た。</p> <table border="1" data-bbox="424 891 1342 1536"> <thead> <tr> <th>トピック</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> <th>4回目</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全な妊娠と出産（復習）</td> <td>1,942人 (89%)</td> <td>1,950人 (89%)</td> <td></td> <td></td> <td>1,946人 (89%)</td> </tr> <tr> <td>家族計画</td> <td>1,993人 (89%)</td> <td>1,897人 (83%)</td> <td></td> <td></td> <td>1,945人 (86%)</td> </tr> <tr> <td>リプロダクティブ・ヘルスに関する疾病</td> <td>2,056人 (87%)</td> <td>2,077人 (89%)</td> <td>2,050人 (86%)</td> <td></td> <td>2,061人 (87%)</td> </tr> <tr> <td>HIV/AIDS</td> <td>2,071人 (88%)</td> <td>1,912人 (81%)</td> <td>1,696人 (86%)</td> <td>1,078人 (91%)</td> <td>1,689人 (86%)</td> </tr> <tr> <td>復習（リプロダクティブ・ヘルス）</td> <td>2,007人 (84%)</td> <td>1,971人 (83%)</td> <td></td> <td></td> <td>1,989人 (84%)</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right;">全体平均</td> <td>1,926人 (86%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>（指標 1-2）ピアエデュケーターに選ばれた直接受益者の8割が適切に健康教育を実施できる</p> <p>達成</p> <p>ピアエデュケーター62名がトピックごとに健康教育を実施し、彼女たちの健康教育技術を、1) 健康知識や教材の使い方、2) コミュニケーション能力、3) マネージメント能力、の3項目から点数化した結果、94%が適切に健康教育を実施できていることが確認できた。</p> <p>また、学校で児童を対象に自主的に健康教育を実施するピアエデュケーターや、HIVや結核患者を自ら保健センターヘリファラーするピアエデュケーターも確認されており、ピアエデュケーターは本事業受益者に留まらず、地域の健康維持にも貢献できる存在になりつつある。</p>	トピック	1回目	2回目	3回目	4回目	平均	安全な妊娠と出産（復習）	1,942人 (89%)	1,950人 (89%)			1,946人 (89%)	家族計画	1,993人 (89%)	1,897人 (83%)			1,945人 (86%)	リプロダクティブ・ヘルスに関する疾病	2,056人 (87%)	2,077人 (89%)	2,050人 (86%)		2,061人 (87%)	HIV/AIDS	2,071人 (88%)	1,912人 (81%)	1,696人 (86%)	1,078人 (91%)	1,689人 (86%)	復習（リプロダクティブ・ヘルス）	2,007人 (84%)	1,971人 (83%)			1,989人 (84%)	全体平均					1,926人 (86%)
トピック	1回目	2回目	3回目	4回目	平均																																						
安全な妊娠と出産（復習）	1,942人 (89%)	1,950人 (89%)			1,946人 (89%)																																						
家族計画	1,993人 (89%)	1,897人 (83%)			1,945人 (86%)																																						
リプロダクティブ・ヘルスに関する疾病	2,056人 (87%)	2,077人 (89%)	2,050人 (86%)		2,061人 (87%)																																						
HIV/AIDS	2,071人 (88%)	1,912人 (81%)	1,696人 (86%)	1,078人 (91%)	1,689人 (86%)																																						
復習（リプロダクティブ・ヘルス）	2,007人 (84%)	1,971人 (83%)			1,989人 (84%)																																						
全体平均					1,926人 (86%)																																						

(指標 1-3) 健康教育事前事後テストの正解率が 8 割を超える**達成**

健康教育を受講した受益者を対象に、選択問題型の事前事後テストを実施したところ、A 群では正解率が 28%から 83%に、B 群では 19.5%から 80.5%に改善したことが確認できた。

対象 トピック	A 群 (2 年以上 36 村)		B 群 (2 年未満 18 村)	
	事前テスト 正解率	事後テスト 正解率	事前テスト 正解率	事後テスト 正解率
家族計画および レプロダクティブ・ヘルス に関する疾 病	21%	82%	16%	80%
HIV/AIDS	35%	84%	23%	81%
平均	28%	83%	19.5%	80.5%

成果 2. 直接受益者の農業に関する知識と技術が向上する**(指標 2-1) 新規 5 村の直接受益者の 50%が農業研修初級コースを受講する****達成**

新規 5 村の総受益者 246 人のうち、67%にあたる 167 人が農業研修初級コースを受講した。

(指標 2-2) 2011 年までに研修を受講した 46 村の直接受益者の 40%が農業研修中級コースを受講する**達成**

46 村において、2011 年までに研修を受講した受益者 895 人のうち、58%にあたる 521 人が農業研修中級コースを受講した。

(指標 2-3) 研修事後テストの結果が平均 70%まで向上する**達成**

農業研修初級および中級コースを受講した受益者に対し事前事後テストを実施したところ、初級コースでは 19%から 84%に、中級コースでは 36%から 88%に改善した²ことが確認できた。

農業研修コース	事前テスト 正解率	事後テスト 正解率
初級コース	19%	84%
中級コース	36%	88%
平均	27%	86%

² 2011 年までに初級コースを実施した受講者のみの数値。中級コース全受講者の推移は 35%→84%。

成果 3. 直接受益者の畜産に関する知識と技術が向上する**(指標 3-1) 新規 5 村の直接受益者の 50%が畜産研修初級コースを受講する****達成**

新規 5 村の総受益者 248 人の 52%にあたる 130 人が畜産研修初級コースを受講した。

(指標 3-2) 2011 年までに研修を受講した村 46 村の直接受益者の 50%が畜産研修中級コースを受講する**達成**

46 村において、2011 年までに研修を受講した受益者 995 人のうち、65%にあたる 645 人が畜産研修中級コースを受講した。

(指標 3-3) 研修事前事後テスト結果が平均 70%まで向上する

畜産研修初級コースおよび中級コースを受講した受益者に対し事前事後テストを実施したところ、初級コースでは 35%から 82%に、中級コースでは 43%から 84%に改善した³ことが確認できた。

畜産研修コース	事前テスト 正解率	事後テスト 正解率
初級コース	35%	82%
中級コース	43%	84%
平均	39%	83%

プロジェクト目標：直接および間接受益者の生計（生活）が向上する**(指標 1) 直接受益者の 3 割が適切な保健行動を取る****達成**

受益者の保健行動変化を図るため、生活習慣調査（衣服の洗濯や洗髪などの「個人衛生」、台所やトイレの清掃、蚊の発生を減らすための水場の処理といった「環境衛生」）を実施したところ、本事業終了時点で経験実績が 2 年以上である 49 村では平均で 80%の受益者が、活動実績約 1 年の新規 5 村では 69%が適切な保健行動を取っていることが確認できた。フェーズ 1 からの推移は下記の通り。

対象 トピック	活動実績 2 年以上 (49 村)			活動実績約 1 年 (5 村)	
	フェーズ 1 (2011 年)	フェーズ 2 (2012 年)	フェーズ 3 (2013 年)	開始時 (2012 年)	フェーズ 3 (2013 年)
個人衛生	71%	78%	90%	58%	75%
環境衛生	48%	62%	70%	26%	63%
平均	59%	73%	80%	42%	69%

また、特にアクセスの悪い新規村では、これまで一度も基礎保健スタッフによる介助分娩が行われなかったが、本事業中に健康教育や基礎保健スタッフとの関係が構築さ

³ 2011 年までに初級コースを実施した受講者のみの数値。中級コース全受講者の推移は 42%→81%。

れたことにより、受益者を含む住民が分娩前に基礎保健スタッフに連絡するようになり、またこれまで難しかった定期的な健診や予防接種への動員も問題なく行われるようになったことが、受益者および基礎保健スタッフへのインタビューで確認された。他にも、これまでは恥ずかしくて相談できなかった「家族計画」について、健康教育の際に基礎保健スタッフと直接質疑応答ができたことによって自由に相談ができるようになったことが、インタビューで明らかになった。

(指標 2) 研修参加者の 5 割が生計手段・収入を拡充できる

達成

研修実施後のモニタリングによると、研修参加者の内、農業研修参加者の 5 割、畜産研修参加者の 8 割が、研修で学んだ知識および技術を活かして生計手段の拡充に取り組んでいることが確認できた。

また、PHI 調査結果によると、研修参加者の内、各グループの収入が下記の通り、推移していることが確認できた。

1) 本事業終了時活動実績 3 年以上 (34 村)

	2010 年 (ベースライン)	2011 年 (研修有)	2012 年	2013 年 (研修有)
平均月収	105,910ks	115,594ks	136,442ks	158,739ks

ベースラインと比較し、上記研修参加者 70%の 2013 年月収が向上した。

2) 本事業終了時活動実績 2 年以上 (13 村)

	2011 年 (ベースライン)	2012 年 (研修有)	2013 年 (研修有)
平均月収	101,185ks	123,561ks	145,381ks

ベースラインと比較し、上記研修参加者 73%の 2013 年月収が向上した。

3) 本事業終了時活動実績約 1 年 (5 村)

	2012 年 (ベースライン)	2013 年 (研修有)
平均月収	106,891ks	119,783ks

ベースラインと比較し、上記研修参加者 43%の 2013 年月収が向上した。

また、「農業研修を受講して学んだボカシ肥、有機防虫剤、酵素葉面散布などの技術を玉ねぎ栽培に活用したところ、収穫量が増加し、その収入で新しいビジネスを始めるためのミシンを購入して生計手段を拡大した」、「農業研修で学んだキノコ栽培を新たに始めた。キノコ畑で使用した牛糞を、これまでもやってきたトマト栽培に活用したところ、良質のトマトが収穫でき、キノコ栽培とトマト栽培の両方で収入が増加した」、「畜産研修で習得した知識を活用し、不安定な農業以外に、養豚、養鶏、養牛とビジネスを拡大した」といった事例が、インタビューによって確認された。

<p>(4) 持続発展性</p>	<p>全体で3年間にわたる事業の最終年度にあたる年(=本事業)は、これまでの活動を通じて達成された成果の定着に努めるとともに、受益者が長期的なサポートを受けられるよう、特に受益者と地方行政(保健局ならびに農業局や畜産局)間のネットワーク強化に注力した。</p> <p>たとえば、基礎保健スタッフが定期的に参加し得る環境を整え、健康教育を通じた実践的なアドバイス、政府キャンペーンの案内、疾病流行などの新しい情報を共有した。このように、基礎保健スタッフと受益者が直接対話する機会を提供できたことで、相互の信頼関係が強化されていることが確認された。受益者の一人は、基礎保健スタッフのアドバイスに従い、家族計画のために保健センターを訪れたと語っている。さらに、基礎保健スタッフによって実施されている定期的な健診や予防接種の際、受益者が手伝いをしていることや、基礎保健スタッフの多くが自分たちの連絡先を受益者に配布したことで、患者が保健センターを訪れる前にスタッフと連絡を取っていることなども、基礎保健スタッフや受益者へのインタビューで確認されている。</p> <p>一方、本事業で育成されたピアエデュケーターの役割・活動・能力が、基礎保健スタッフに正しく認識・評価されたことで、地域の健康促進に向けた基礎保健スタッフとピアエデュケーターの一層の連携が期待される。なお本事業終了後は、健康教育に関する十分な経験を積んだピアエデュケーターを中心にチームを形成し、月1回の受益者定例ミーティングで健康ディスカッションを実施する予定である。同ディスカッションは、地域保健センターの基礎保健スタッフや他団体とも連携し、引き続き特定の疾病に関する具体的な予防方法や治療法について、受益者が学びを深めていく予定である。</p> <p>農業および畜産研修に関しては、郡農業局や畜産局、郡行政官事務所の職員が、研修やスタディーツアー、家畜予防接種プログラムに参加し、受益者に実践的なアドバイスや政府キャンペーンなど最新の情報を共有した。このことにより、相互の信頼関係が構築され、たとえば研修実施後、自ら畜産局に連絡を取り牛の人工授精やその他家畜の予防接種を依頼した受益者の存在が確認されている。また、自主的に受益者定例ミーティングに参加した農業局職員が、農業局で取り扱っている純正種子を紹介し、受益者がそれを購入するなど、相互にネットワークが強化された事例が本事業実施中に確認されている。さらに、畜産予防接種プログラムには、本事業受益者の働きかけで、受益者以外の家畜所有者も参加し、ワクチン代を負担した上で予防接種を受けるなど、受益者以外の地域住民への波及効果も発現している。</p> <p>本事業終了後は、研修受講者の内、特に意欲の高い受益者を中心に形成されたチームが、月1回の定例ミーティングで生計向上活動についてディスカッションを実施する予定である。季節に応じた農業や畜産に関する市場動向の把握、種子や予防接種などに関する意見交換や問題の解決方法などを議論する他、必要時には、行政関係機関へ問い合わせ、実地指導を求めていくことが想定されている。</p> <p>なお、マイクロクレジットサービス部門(小規模無担保融資および貯蓄)は、引き続き当法人によって運営される。本サービスの提供によって、前述の保健活動および生計向上に資する活動を実施する場が継続的に確保される。</p>
------------------	---